

学 校 経 営 計 画(平成28年度～平成30年度)										教職員数		8		学級数		5()		児童・生徒数		42()		土佐清水市立下ノ加江小学校 * 学校番号（3 3 6 2 0 4）																																																									
校長		山崎 修二		教頭		藤原 初美		主幹 教諭				指導 教諭				教務 主任		長谷川 清治		研究 主任		福留 未佐		道徳教育 推進教師		山田 美智子		学校図書 担当		福留 未佐		体育 主任		井上 善行		生徒指導担 当		井上 善行																																									
学校教育目標			よりよい未来に向けて主体的に社会に参画する人間の育成															研究主題			主体的に学び活動する授業づくり																																																										
Ⅰ 学 校 経 営 理 念										Ⅲ 中 期 学 校 経 営 基 本 方 針(1年目～3年目)										Ⅳ 中 期 目 標 指 標(3年目)										Ⅵ 経 年 に お け る 検 証 ・ 評 価																																																	
学校は憲法の精神のもと、教育基本法及び学校教育法その他の法令等にもとづき、健康で豊かな人間性と実践力を身に付けた、「平和で民主的な社会」を築く一員としての児童の育成を目指さなければならない。児童がそれぞれの発達段階において、将来の自己実現に向かって主体的に取り組むことが一人一人の人格の完成にとって大切である。新たな21世紀を生きる児童の個性と能力を最大限開化させるための教育創造に取り組むことが大切である。また、学校には「チームで対応する力＝組織力」が求められる。その背景として多様化・複雑化する学校教育課題あるいは教員の年齢構成の変化、学び方の変化に伴う教育方法の開発や教員同士の学び合い、専門的知識・技能をもった専門家の必要性が考えられる。さらに、こうした観点の推進として「学校・家庭・地域」の連携は重要であることから学校経営の理念の中心を以下の三点を柱としたい。 1、主体的に社会に参画する児童の育成 2、自分の将来をしっかりと考えられる児童の育成 3、地域を知り、地域を大切にする児童の育成										(1)各教科の指導の充実と改善 ・基礎的、基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、指導と評価を一体化させた指導を充実する。 ・探究的な学びを通して、 상호互の学び合いを工夫して学習意欲を高め、学力の向上を図る。 ・将来を見据えたキャリア教育の視点を重視するとともにICTを活用した教育実践を取り入れる。 ・特別支援教育の視点に一人一人のニーズにあった教育内容の推進を図る。 (2)道徳教育の充実 ・よりよく生きるための基礎となる徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的、多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。 ・確かな道徳実践力が身につくよう、道徳の時間を全教育活動における道徳教育の要とする。 ・道徳教育推進教師を中心とし、全教職員が組織的に取り組む。 ・家庭や地域社会との共通理解・連携を図る。 (3)人権教育の推進 ・教育活動を通して、人間尊重教育を進め、人権意識の向上を図る。 ・人権感覚を高め、人権意識の向上を図ること、人権感覚と人権意識の相互関係のある人権教育を行う。 ・人権教育学習の計画的、系統的な指導に努め、差別をしない、許さない、許さない子どもを育てる。 ・教師の人権教育観を確立するとともに地域社会との連携を深める。 (4)特別活動の充実 ・児童間で確かな人間関係を育み、一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう話し合い活動、集会活動、委員会・クラブ活動において自発的・自治的な活動を工夫する。 ・学級や学校の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度が身につくよう、各教科、道徳の学習や外国語活動、行事との関連を図った指導を充実する。 ・集団の一員としての自覚を深め協力する態度、責任感、連帯感を育てる。 ・学級、学校の質的向上と充実を図る。 (5)体力づくり・健康・安全指導の徹底 ・体力の向上を目指す取り組みをする。 ・健康や安全に関する意識を高め、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ・学校環境の安全点検を励行し、児童の事故防止に努め、合わせて児童の危機回避能力を高める。 ・防災教育の充実(各種避難訓練の実施、地域・保護者との連携を図り、防災・減災意識の向上を図る。) (6)生徒指導の充実 ・自尊感情と思いやりの気持ちを持って他者と関わることができる実践的な態度が身につくように、情報の共有化をし、組織的な指導を行う。 ・いじめ・不登校などの問題行動の早期発見及び早期解決を図る。 ・児童の規範意識を高め、集団生活における基本的な生活習慣を確立し、健康で安全な楽しい学校生活を送ることができるようにする。 ・自分の良さを自覚し、将来への夢や希望をもたせるため、道徳や特別活動をはじめとした全教育活動を通して発達段階に応じた生き方の指導を行う。 ・生涯にわたって学習することの意味自らの生き方を考えるため、キャリア教育の充実を図る。 ・総合的な学習の時間で探究的な学習を行う。										(1)各教科の充実と改善 ◇学習内容の定着等 ・各学年・各主要教科到達目標に対し、定着率90％以上。全国学力テストAB問題とも全国平均10ポイント以上。 ・標準学力調査において、学習への意欲・関心・態度が全国平均5ポイント以上(国・算) ・全学級において、ICTを活用した授業が行える。 ◇学習に主体的な学び ・授業が楽しいと評価している児童90％以上 ・授業が分かると評価している児童の割合90％以上 ・家庭学習時間目標達成者の割合90％以上 ・自主学習に全児童が取り組む90％以上 ◇個別指導の充実 ・児童一人一人の学校生活満足度90％以上 (2)道徳教育の充実 ・道徳意識調査では、全項目平均3.5以上(満点4) ・学校の教育活動全体を通じて道徳教育の推進ができています。 ・道徳を計画的に行っている。 ・年間計画が予定通りできている。 (3)人権教育 ◇学校教育全体を通じ人権教育が行われている。 ・意識調査、全項目3.5以上(満点4) (4)特別活動の充実 ・児童の主体に関わる行事が計画、実行されている。 ・学校生活満足度90％以上 ・学校・学級生活において、仲間意識を大切にする心をもち、主体的に活動できている。 ・Q-Uテスト満足群の割合90％ (5)体力づくり・健康・安全指導の充実 ・体力向上に向けた行事が行われている。 ・日常生活の中に運動習慣を位置づけて生活できている。 ・運動をしている時間、一日60分以上 ・運動好きな児童の割合90％以上 ・防災意識の高い児童の割合100％ (6)生徒指導の充実 ・定期的に児童に関する情報交換が行われている。(月1回) ・生徒指導上の問題行動がない。 ・いじめ・不登校等の課題に迅速に対応できる環境があり、職員の意識が高い。 ・発達段階において、将来のゆめがかたれる児童の割合90％以上										知 徳 体 成果や課題を分析し、改善すべき点																																																	
																																								2年目										A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D									
3年目										A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D																																																	
Ⅴ 短 期 学 校 経 営 基 本 方 針 及 び 評 価 （平成28年度）																																																																															
1 平成28年4月当初の学校の状況（課題は何か）										2 具体的な到達目標(あるべき姿、望ましい状態)										中間検証時の状況 及び 考察										平成28年度末の検証(到達状況及び次年度に向けて)																																																	
知										1、全国学力・学習状況調査では、全国比 国算A +15以上、国算B +10以上） 2、標準学力調査では、全学年全国正答率を上回る。 「意欲・関心・態度」は昨年度比 +5 3、高知県学力定着状況調査では県平均 +10(4・5年)。昨年度比 +5以上 4、CRT検査では、2教科平均全国比 +7ポイント。 「意欲・関心・態度」は昨年度比 +5ポイント 5、総合的な学習を中心に探究的な学習を行う。学校評価アンケートでは「授業が分かる」と肯定的評価をしている児童の割合95％ 6、家庭学習において、習慣化がついている児童90％										A ・ B ・ C ・ D																																																											
徳										1、全児童が読書にに親しみ、読書を通じて豊かな心を育てる。年間読書目標達成児童の割合80％ 2、年間を通じ、調べ学習に図書館を活用する。 3、道徳の授業により、道徳意識の向上及び道徳的実践力を高める。道徳意識調査において、全項目平均3.2(満点4)を目標にし、達成した児童の割合80％ 4、キャリア教育の充実をはかり、児童一人一人が将来の目標をしっかりとって取り組める。キャリア教育アンケートの全項目平均3.2(満点4)を目標にし、達成した児童の割合80％										A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D																																																	
体										1、全国体力・運動能力、運動習慣等の調査において、体力の合計点の平均値の向上を目指す。(全国比、男子女子とも全国平均と同等)総合評価のB以上の児童の割合を50％以上。 2、生活実態調査において「運動が好き」という児童の割合90％以上。「体育の授業が好き」という児童の割合95％以上。 3、基本的な生活習慣の生活リズムのよい児童の割合90％以上。										A ・ B ・ C ・ D										A ・ B ・ C ・ D																																																	

課題解決を図るための項目			主な取組内容		取組内容の評価指標		スケジュール ※いつ、何を行うかの目安を記入してください。													評価指標に対する到達状況及びその理由、その要因		次年度に向けての重点的な取組		
							4月	5月	6月	7月	8月	中間検証(改善のために行う今後の重点)		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
知	学力向上のための組織的な校内研修等の取組 【企画委員会】	・授業研究を柱とした校内研修の実施 ・全学年の研究授業の実施 ・授業方法、実践事例研究の実施	・研究授業を各学級1回は実施する。 ・授業研等で講師を年5回は招聘する。 ・校内研を計画通り実施する。		・学校経営計画の作成と確認 ・校内研究組織、研究テーマ、研究方針・内容の確認、年間研修計画の作成		・各学年の授業研の実施 ・授業研の事前・事後研究の実施 ・講師招聘		・1学期校内研修計画等の検証と改善				・各学年の授業研の実施 ・授業研の事前・事後研の実施		・2学期校内研反省		・3学期の取組の確認	・校内研のまとめと研究集録の作成	・校内研の総括 ・学校経営計画の見直し					
	子どもにわかる授業づくり 【企画委員会】	・本校の授業のスタンダードに基づいた授業 ・複式学級研究授業の事前研修、事後研修の実施(指導案の検討と授業反省) ・主体的・探求的に考え取り組む授業づくり ・小小・小中交流を行う。	・授業の流れがわかる指導案(ねらい、自己解決、練り合い等)の作成 ・練り合いの部分を中心とした効果的な授業分析と課題の焦点化 ・学校評価アンケートで、「授業が分かる」という肯定的評価を90%以上にする。 ・小小交流(3回)・小中交流(4回)		・授業のスタンダードに沿った授業の実施と検証 ・授業の教材研と指導案の検討 ・練り合いの部分を中心とした授業反省 ・小小交流(2回)・小中交流(1回)		・授業づくり等についての検証と改善		・授業のスタンダードに沿った授業の実施と検証 ・授業の教材研と指導案の検討 ・練り合いの部分を中心とした授業反省 ・小小・小中交流(各1回)				・夏休みの学習の検証 ・家庭への啓発		・家庭学習・宿題の点検と評価 ・家庭学習強化月間		・冬休みの学習の検証 ・冬休みの学習の検証 ・発達段階に応じた効果的な家庭学習の在り方についての検証	・家庭学習についての総括と課題の確認						
	家庭学習の質と量をも高める取組 【企画委員会】	・各学年の家庭学習の内容、具体的な取組について共通理解を図る。 ・意欲的に家庭学習に取り組む手立ての構築 ・自主ノートの展示を行い、書き方のよさなどを広める。	・家庭学習の提出率90%以上を目指す。 ・学期毎に学習状況について、検証し意欲的に取り組む児童を増やす。 ・自主学習ノートを毎日1ページはしてくる児童を95%にする。		・教育計画の作成と確認 ・小中交流		・各学年の取組と共通理解 ・自主学習ノートの交流 ・家庭への協力要請		・1学期の家庭学習についての検証と改善策				・2学期の指導内容の確認と共通理解 ・個に応じた加力指導		・検証に基づいた学習指導		・2学期の取組の反省と定着状況の把握	・検証に基づいた学習指導 ・CRT検査の実施	・学力定着状況の確認と向上対策の見直し					
	学力向上対策 【企画委員会】	・各学年の学力定着状況を把握し、学力向上対策を構築する。 ・学年初めと末に学力調査を実施する。 ・個に応じた加力指導の実施	・標準学力調査(全国正答率を上回る)等の検査を実施し指導に生かす。 ・CRTでは、全国比+7を目指す ・放課後や海の子タイム等の時間の確保・計画的な加力学習の実施		・全国学力・標準学力調査の分析と検証 ・個に応じた加力指導		・学力定着状況の把握・検証と対策 ・加力指導		・2学期の指導内容の確認と共通理解 ・個に応じた加力指導				・2学期の取組の反省と定着状況の把握		・検証に基づいた学習指導		・2学期の取組の反省と定着状況の把握	・検証に基づいた学習指導 ・CRT検査の実施	・学力定着状況の確認と向上対策の見直し					
徳	読書活動の推進 【図書担当】	・全校一斉読書の推進 ・学年必読図書の読破 ・図書や新聞を活用した授業づくり ・市民図書館との連携	・週4回の一斉読書タイムの実施 ・全体の90%の読破率を目指す。 ・関連図書等を積極的に活用した授業の実施 ・月に1回の読み聞かせの実施		・読書指導・読書活動の確認 ・毎月1回の読み聞かせ(市民図書館) ・読書意欲の喚起を図る取組(本の紹介カード)		・取組の検証と改善 ・図書室の整理						・2学期の読書指導・活動の確認 ・全校への読書啓発活動 ・学校図書館や新聞を活用した授業		・読書感想文への取組 ・読書祭りへの取組(読書標語) ・図書活用研修		・家庭への啓発活動 ・児童の実態把握と情報交換(月に1回) ・交流(2回)		・読書活動の総括と来年度の取組					
	道徳・人権・特別支援教育の推進 【人権・道徳主任・企画】	・学校教活動全体を通して、人権意識や道徳性の育成 ・思いやりの心、規範意識、自尊感情を高める指導 ・仲間づくり活動の充実 ・キャリア教育の充実 ・他校との交流	・道徳・人権参観日の実施 ・各種アンケートの各2回実施と活用し、あらゆる場面での児童への評価(主体性、自信をつける) ・縦割り班を活用した取り組みの実施 ・キャリア教育のアンケート実施(年2回) ・他校との交流を行う(年5回)		・道徳教育、キャリア教育の確認と指導計画作成・交流 ・道徳アンケート実施 ・QUアンケート ・道徳参観日の実施 ・家庭への啓発活動 ・児童の実態把握と情報交換(月に1回) ・交流		・1学期の取組の反省と改善 ・2学期の取組の反省と見直し ・3学期の取組の確認 ・家庭への啓発活動・交流		・道徳・人権・特別支援教育の総括と指導計画の見直し				・道徳・人権・特別支援教育の総括と指導計画の見直し		・道徳・人権・特別支援教育の総括と指導計画の見直し		・道徳・人権・特別支援教育の総括と指導計画の見直し							
体	体育の授業の充実 【体育主任】	・運動の特性を生かした楽しい体育授業の創造 ・計画的な体育授業の実施	・体育の授業が好きを95%、運動が好きを90%以上にする ・年間計画に沿った授業の実施(わたしたちの体育の使用教諭100%)		・体育の授業の年間計画の確認 ・スポーツテスト・マツ・跳び箱週間 ・スポーツテストの結果の分析と検証・体育指導の検証と再考		・陸上特別練習 ・鉄棒週間 ・マラソン大会への取り組み ・縄跳び週間		・体育的指導の反省と課題の確認 ・体育的行事の見直し				・運動会への取り組み ・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び					
	体育的活動の充実 【体育主任】	・年間を通して体育集会や集団遊び等の計画的な実施 ・体力づくり運動の実施(一輪車、縄跳び運動、水泳・陸上、持久走等)	・児童が目当てをもって意欲的に取り組む体力づくり運動(児童主体の体育朝会 年16回) ・体力テスト県平均以上を目指す。 ・総合評価B以上の児童の割合を50%以上		・体力づくり、体育的行事の確認 ・体育朝礼 ・体力づくり運動会を見据えた運動(整列 行進ラジオ 体操 一輪車) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼 ・体力づくり運動会を見据えた運動(整列 行進ラジオ 体操 一輪車) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び				・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び		・朝マラソンの実施 ・体育朝礼(縄跳び 大縄) ・体育的ゲーム 集団遊び					
命	防災・安全教育 【防災・安全担当】	・校内安全点検の実施 ・防災に対する実態把握 ・避難訓練の実施 ・公開授業の実施 ・講師を招聘し講演会を行う ・防災参観日の実施	・学期に1回校内安全点検を実施する ・防災に対する児童・保護者へのアンケートを年2回実施する ・避難訓練を毎月実施し主体的に行動できる児童を育成する ・各学級1回公開授業を実施する ・講師を招聘し保護者・地域の方にも呼びかけた講演会を実施する ・防災参観日(保護者・地域との吹き出し)		・防災安全教育の方針の確認と指導計画の作成意識調査の実施 ・避難訓練交通安全教室 ・講師を招聘し公開授業の実施 ・避難訓練の実施・課題把握		・1学期の取組の検証と改善策 ・防災マニュアルの見直し ・地域防災訓練に参加		・避難訓練(月1回) ・意識調査(アンケート)9月		・避難訓練 ・研究の総括		・1年間の取組の総括を行い成果と課題を明確にし次年度のつなげていく。											
	健康教育 【養護教諭】	・健康的な生活習慣を身に付ける教育の推進 ・自分の生活習慣の見直し。 ・健康についての啓発活動。 ・小1プロブレムへの対応	・毎日の健康チェックと1学期に2回の生活リズム点検の実施。 ・生活リズム点検の全体評価を90%にする。 ・学期に1回、保健集会で生活習慣の大切さを伝える。 ・保小連絡会を実施(年2回)		・基本的な生活リズムの確立についての確認 ・学級担任による健康チェック、全校の健康状況確認 ・生活リズム点検の全体評価を実施と評価 ・毎月1回の健康についての広報発行 ・保小連絡会(5月)		・学期の生活リズム点検の結果の検証と反省		・学級担任による健康チェック、全校の健康状況確認 ・保健集会 ・生活リズム点検実施と評価 ・毎月1回の健康についての広報発行 ・保小連絡会(3月)		・今年度の健康教育への総括と来年度への課題の確認		・今年度の健康教育への総括と来年度への課題の確認											
部活動 【 】																								